

寺
ごよみ

一月

一日 除夜の鐘

年頭参り

一三日 法要準備

御正忌

一五日前十時 法要
一六日前十時 法要

ほんこさまについて

親鸞聖人のご法事はめでたく赤のろうそくをご用意下さい。年会費は一万二千円です。どうぞよろしくお願い致します。



寺報
善巧
ぜん ぎょう

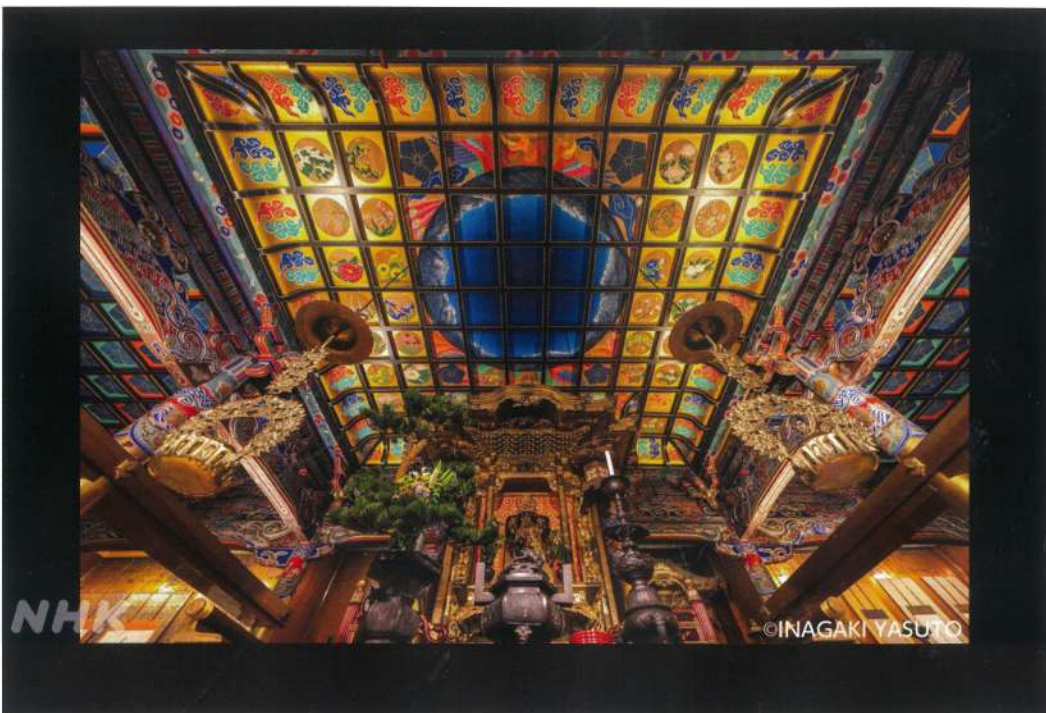
発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net

親鸞聖人の祥月命日

御正忌

一月十五日・十六日



写真家・イナガキヤスト氏撮影

親鸞聖人は三十五才から四十二才まで新潟県で生活し、その後京都へは帰らず妻子を連れて関東へ向かわれました。当時は鎌倉幕府が開かれてから二十年以上経過しています。鎌倉幕府の噂は新潟へも頻繁に入り、おそらく聖人も興味深く聞いておられたと思われるます。

悔いなきように

一方で京都は、当時の既存仏教である南都六宗や天台宗が定着し、新しい考え方を受け入れる土壌はなく、実際に法然聖人、親鸞聖人は念仏弾圧を受けて京都を離れました。既存仏教が固定化している京都へ帰るべきか、革命が起き、新しい文化が受け入れられる可能性があるか。幸い京都時代の法友に、関東の繋がりもあり、関東へ向かわれます。

当時、平均寿命は四十代なので、四十二才で関東へ向かうということ、そこを最後の地と定めていたのではないのでしょうか。実際は長生きされたので六十才を過ぎたが、それは布教の最前線からの引退であったという見方も出来ると思います。いずれにしても、四十代、五十代を関東で暮らし、布教伝道に費やしました。浄土真宗の教えが定着していない地での布教は想像出来ないほどの苦労があったと思われるますが、一方で、そこにやりがいと生き甲斐を感じて、意気揚々と生きていた親鸞聖人を想像しています。

雪山俊隆

報恩講

十月十九〜二十日

親鸞聖人のご法事、報恩講が行われました。今春完成したばかりの清河北斗さん制作の親鸞聖人像と、山口県莊嚴寺の白鳥文名さん制作の像に見

守れながら法要をつとめました。

ご講師は愛媛県大三島より浅野執持先生をお招きし、自著の絵本「絵ものがたり正信偈」を題材にお話いただきました。

期間中には、栃澤地区・開澤さんの琴グループ



絵ものがたり正信偈／浅野執持著



御絵伝と親鸞聖人



琴演奏

「三角洲」の演奏もあり、法要に彩りを添えてくださいました。

空華忌

十一月五日

本願寺に大きな功績を残し、善巧寺では学塾「空華廬」を開いた善巧寺第十一代「明教院僧鎔（みょうきょう）いん（みょうきょう）の法要がとまりました。今年は五年ぶりに大阪高槻市の仏教校「行信教校」より学生方が参拝にお越しください、共に法要をつとめさせていただきます。



総代会

十一月十日

善巧寺の行事と会計を報告する総代会が行われました。

責任役員の澤田正議長のもと会議が進められ、会計・行事報告、行事案・予算案ともに承認をいただきました。

役員改選では、責任役

員を四年間つとめてくださった澤田正さんが辞任し、澤木繁夫さん（下立愛本）が新しく責任役員に就任しました。尚、今年には総代の交代が多く十名新総代が就任されました。

責任役員（総代長）

澤田繁夫（下立愛本）

新総代

佐々木次久（音澤）

佐々木博昭（音澤）

後藤高男（浦山）

菊地幸正（浦山）

鬼原征彦（浦山新）

浦瀧善秋（浦山新）

嶋田丈久（板屋）

藤澤猛（板澤）

開澤忠彦（板澤）

根塚昌志（生地）



百年以上前の輪裂裳



12/16 巖寺智顕先生



11/1 雲林重正先生



10/1 奥野寛暢先生



富山別院冊子に寄稿



月刊住職の取材記事



保育園の子供たち



10/5 行信講座



写真家イナガキヤストさんの番組（NHK とやま）の取材があり善巧寺が放送されました。

納骨墓

昨年より準備を進めてまいりました納骨墓がほぼ完成し、最後の調整を行い三月以降より正式に稼働予定です。場所は本堂の裏側に位置し、駐車スペースも用意してありますので、直接お参りいただけます。見学、お申込み希望の方はお寺までご連絡ください。

また、本堂内の納骨棚は残り3箇所です。どちらも一長一短があり、屋外の納骨墓は日時を問わずお参り可能（雪が積むと不可）で、本堂の納



骨棚は、法事等の行事中はお参りいただけませんが、雪の日も雨の日も問題なくお参りいただけます。ご都合に合う場所をお求めください。

契約年数と志納金

七年	一区画三十五万
十三年	一区画四十万
二十三年	一区画四十五万
三三年	一区画五十万
合祀墓	一体七万円

納骨墓（屋外）

骨壺二体



納骨壇（屋内）

骨壺四体



※契約期間後は、納骨墓の中央に合祀します。

御正忌

親鸞聖人の祥月命日にとまる法要です。

一月一五日（水）

午前十時 法要

法話…高島康彦



一六日（木）

午前十時 法要

法話…神子巧照



寺
ごよみ

二月

一四日	舟見報恩講
一六日	ほっこり法座
一九日	生地・荻生・植木
二〇日	生地・荻生・植木
二一日	生地・荻生・植木
二四日	入善報恩講
二五日	入善報恩講
二六日	熊野・栃屋報恩講
二七日	熊野・栃屋報恩講

寺
ごよみ

三月

三日	三日市報恩講
四日	三日市報恩講
五日	三日市報恩講
九日	下立報恩講
一〇日	下立報恩講
一一日	下立報恩講
一四日	浦山報恩講
一六日	ほっこり法座
一七日	浦山報恩講
一九日	浦山報恩講
二〇日	浦山報恩講
二一日	浦山報恩講
二五日	浦山報恩講
二六日	浦山報恩講
二七日	浦山報恩講

合 掌

二〇二四年は、浄土真宗が開かれて八百年の年でした。個人的には、親鸞聖人像の情報収集に明け暮れ、最終的には卓上カレンダーの制作とフォトコンテストの開催に至りました。また、清河北斗氏制作の親鸞聖人像が完成したことも大きな喜びです。

二〇二五年はどんな年になるでしょう。善巧寺では引き続き定例行事に力を注ぎたいです。毎回力不足を痛感しておりますが、みなさまに振り向いてもらえるようにとめていきますので、どうぞ、よろしく願っています。

